



タイルの
まちを
あるいてみた

2023. 02.18sat
- 05.07sun

タイル名称統一100周年記念
studio record 展

モザイクタイルミュージアム
3Fギャラリー


MOSAIC TILE
MUSEUM
Tajimi



リサイクル途中のタイル



多治見市の鉱山(上)、イメージスケッチ(下) 多治見市の山(上)、製陶所(下)



スタジオレコード | 2000年、宮部友宏と金工家の友人との共同工房としてスタート。現在は常勤の陶芸家・高山愛と数名の若手作家の他、陶芸家・小澤順一や木工家が部分的に参画し活動を行っている。タイル制作においては栃木県那須塩原市の美術館や愛知県一宮市のカフェ、岐阜県大垣市の住宅などがある。企業とのコラボ製品も手掛ける。

【関連企画】

□黒板タイル作り ----- 黒板として使えるタイルをパターンを意識しながら立体的に貼り、どこにもない黒板を作ります。

2023年3月21日(火・祝) 会場 | 多治見市笠原中央公民館 定員20名
講師 | 高山愛(陶芸家、スタジオレコードマネージャー)、森川昌美(陶芸家、スタジオレコード)

□リサイクル・タイルのワークショップ ----- 不要になったタイルは粉碎された原料に戻ります。その粉碎途中の物をクラッシュタイルとして利用するワークショップです。

2023年3月26日(日) 会場 | アクティブG(岐阜市) 定員20名
講師 | 小澤順一(陶芸家、スタジオレコード講師)、樋口実奈海(陶芸家、スタジオレコード)

□アースポット・ワークショップ ----- 地面に穴を掘り、タイルのリサイクル原料が入った粘土を使い、大地を型とした器を作ります。作品は後日焼成します。

2023年4月15日(土) 会場 | 岐阜県セラミックス研究所(多治見市) 定員15名
講師 | 加藤真美(陶芸家、愛知県立芸術大学 非常勤講師、とこなめ陶の森 研修工房講師、スタジオレコード講師)

□循環する大地：再生原料を使ったワークショップ ----- 今まで活用されてこなかった土(青サバ)や不要になったタイルの再生原料などを混ぜて自分好みの粘土にし、陶板(大判タイル)を作ります。作品は後日焼成します。

2023年5月3日(水・祝) 会場 | 岐阜県セラミックス研究所(多治見市) 定員15名
講師 | 宮部友宏(陶芸家・造形作家、スタジオレコード ディレクター)、小稲彩人(岐阜県セラミックス研究所 主任専門研究員)

詳細はホームページまたはモザイクタイルミュージアムに直接お問合せください。

タイル名称統一 100周年記念

タイルのまちをあるいてみた studio record 展

日本で「タイル」という呼び名が統一されてから100年。

今、タイルの魅力を問い直し、新たな方向性を模索する動きが生まれています。この機に、第12回 国際陶磁器展美濃において、タイルの作品で銀賞を受賞した「スタジオレコード」による企画展を開催します。当館では2022年を通して、日本のタイルの100年を振り返る企画展により、タイルの役割や魅力とは何かを問いかけてきました。本展はそれを踏まえ、タイルのこれからを考える機会として企画したものです。「スタジオレコード」とは、岐阜と名古屋を拠点として、陶芸家・造形作家の宮部友宏を中心に、陶芸や木工という複数のジャンルの作家が参画し、タイルや什器の制作からアートイベントの企画運営まで幅広い活動を行っている工房です。今回は、多治見市笠原町を中心に、東濃地域のタイル生産現場を改めて回っていただき、感じたことや考えたことを、作品と展示によって表現していただきます。産業の関係者や研究施設とも協働し、タイルの新しい可能性を示す、意欲的な展示になることでしょう。



モザイクタイルミュージアム
MOSAIC TILE MUSEUM Tajimi

会場 | 多治見市モザイクタイルミュージアム 3Fギャラリー

会期 | 2023年2月18日(土)～5月7日(日)

休館日 | 月曜日(休日の場合は翌平日)

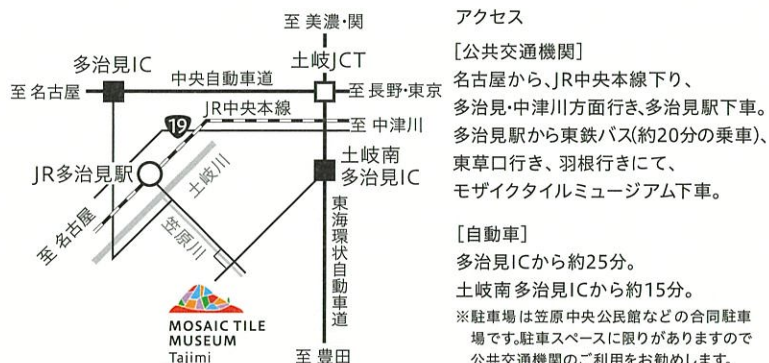
開館時間 | 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分)

観覧料 | 一般：310円、団体(20名以上)：250円、高校生以下無料、障がい者手帳をお持ちの方及び付き添い1名様無料

主催 | 多治見市モザイクタイルミュージアム

企画協力 | スタジオレコード

協力 | イビケン株式会社、岐阜県セラミックス研究所、森ビル都市企画株式会社 (WORLD DESIGN CITY GIFU・アクティブG)



お問合せ先

多治見市モザイクタイルミュージアム

〒507-0901 岐阜県多治見市笠原町2082-5

電話 0572-43-5101 FAX 0572-43-5114

URL: <http://mosaictile-museum.jp>

